

## 2. 法面の基本的な考え方

### 2-1 盛土・切土法面

- 区画整理における切土及び盛土法面保護は、土砂流出防止の観点から特に留意する必要がある。
- 切土及び盛土法面の浸食や崩壊によりほ場外へ土砂が流出する危険性がある場合は、現地状況を勘案し必要に応じて植生を行うこと。
- 工事で伐開物・伐根物等が発生する場合は、できるだけ法面保護（法覆基材）や土留材、疎水材などとして現場内で有効に活用すること。

#### <留意事項>

- \* 法面保護の工法選定は、別紙「法面保護工選定フロー図」を参照のこと。
- \* 別紙「法面保護工選定フロー図」を参考に、一般的な植生工法と植栽工（ヤナギ等埋木）、小段工、法勾配緩和工、帯梢段柵工などの組み合わせを検討すること。
- \* 発生する伐開物・伐根物等についても、植生や上記工法との組み合わせを検討すること。
- \* 盛土法面については特に流出の可能性が高いことから、植生を検討すること。



伐開物・伐根物等を法尻に活用



法尻に帯梢段柵工とフトン籠を設置

## 2-2 法面整形

○ 区画整理等における盛土法面整形の区分はつぎのとおり。

- ①ブルドーザ整形～植生なし、吹き付け
- ②バックホウ整形～張芝、植生マット等

### <留意事項>

- \* 2カ年にまたがる施工となる場合は留意すること。
- \* 平成22年度オホーツク総合振興局管内適用設計・積算の手引き 「農地～P5」参照



バックホウによる法面整形状況

## 2-3 法面保護工法の選定について

- 東部耕地出張所管内で一般的な土壌である火山性土の場合、有機質成分が少ないことから、施工後1～5年で枯死する場合もあり、従来の一般的な植生工法と帯梢段柵工や小段工、法勾配緩和工、植栽工(ヤナギ埋木等)などとの組み合わせ工法を検討すること。
- 法面保護工法の選定は、現地条件や施工実績、地元受益者との打合せにより決定すること。

### <留意事項>

- \* 一般的な植生工法との組み合わせについて検討のこと。(選定フロー図参照)
  - ①小段工のステップを増やすことが可能か
  - ②法勾配を緩和することが可能か
  - ③ヤナギ植栽工等との組み合わせは可能か
  - ④帯梢段柵工との組み合わせは可能か
- \* 法面保護工の効果については、経年変化を追跡調査することが重要となる。



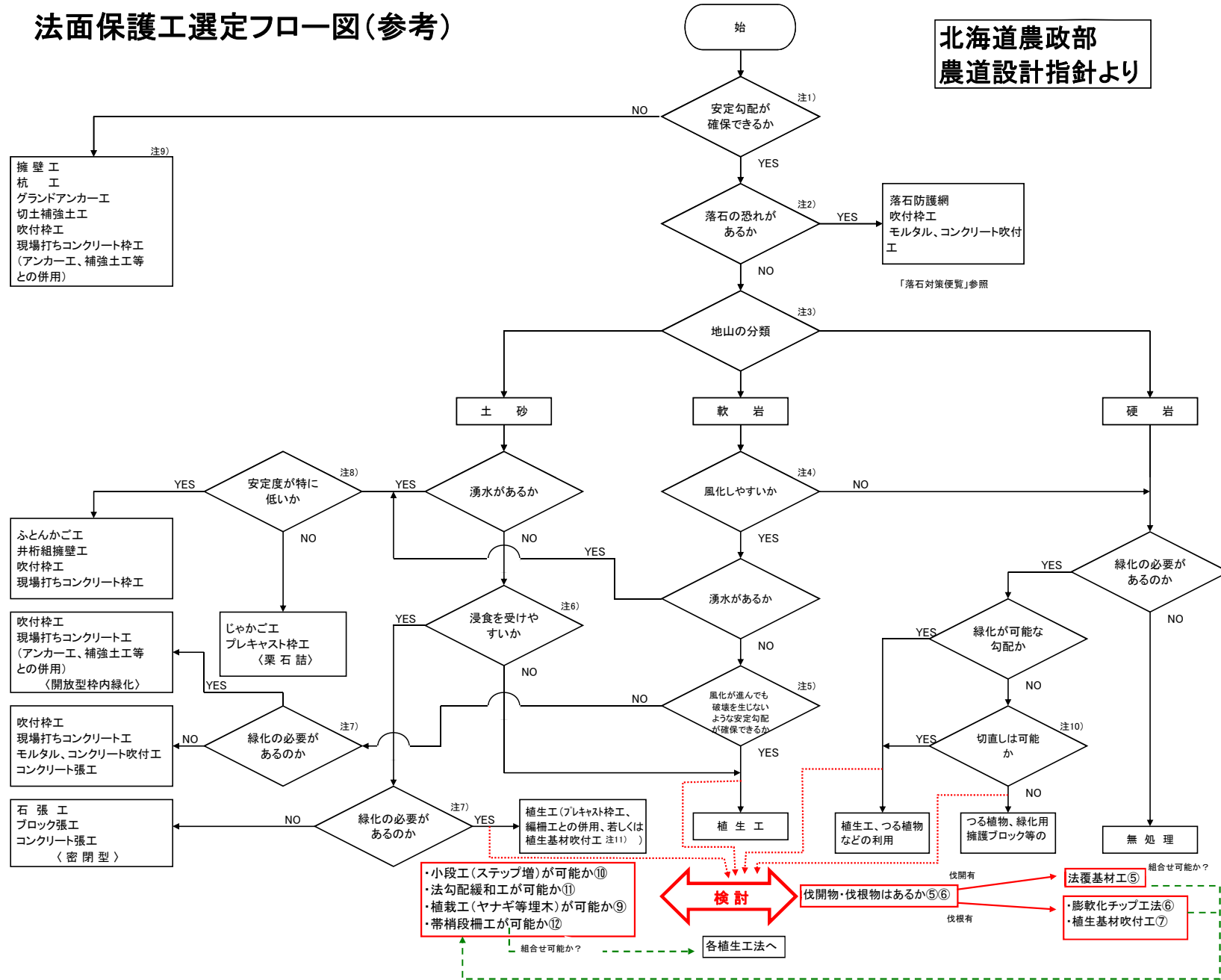
ヤナギの植栽施工例



帯梢段柵工施工例

# 法面保護工選定フロー図(参考)

北海道農政部  
農道設計指針より



\* 各番号○は、別紙法面工法一覧及び施工事例参照

## 2-4 法面保護工法比較一覧表(参考)

番号		工法	メリット	デメリット	単価(円/m <sup>2</sup> )	備考
1	植生工法	種子吹付工 (T=1mm)	・施工費が安い	・火山性土の場合、1年程で枯れる ・施工時期が短い(9/4まで)	175	
②		腐植酸種子散布工 (T=3mm)	・施工費が安い	・火山性土の場合、1年程で枯れる ・施工時期が短い(9/4まで)	295	
3		有機材種子散布工(客土吹付) (T=3cm)・金網含む	・法面安定	・火山性土の場合、2年程で枯れる ・施工時期が短い(9/4まで)	2,820	
④		張芝工	・施工時期が長い(11/22まで)	・火山性土の場合、2年程で枯れる	580	
⑤	伐開・伐根物 再利用工法	法覆基材工(伐開物張付) (T=15cm)	・施工費が安い ・資源の有効利用	・伐開物必要 ・施工時期が短い(9/4まで)	337	
6		膨軟化チップ工法 (T=1cm)	・施工費が安い ・資源の有効利用	・伐根物必要 ・火山性土の場合、2年程で枯れる	540	
⑦		植生基材吹付工(チップ) (T=3cm)	・産廃処分するより安価 ・資源の有効利用	・伐根物必要 ・施工時期が短い(9/4まで)	4,000	産廃処分費で3500円/m <sup>3</sup> かかる
8	組み合わせ工法	布団かご工	・法面安定	・施工費が高い ・法面が緑化とはならない	9,900	
⑨		植栽工(ヤナギ埋木)	・施工費が安い ・資源の有効利用	・火山性土の場合、腐葉土が必要となる ・施工時期夏頃まで ・人力だと手間がかかる ・成長するまで長期間を要する		
		⑩	小段工(ステップ増)	・施工費が安い(ステップ増やすだけのため)	・潰れ地が多くなる ・緑化するには他の工法との組み合わせが必要	
⑪		法勾配緩和工	・施工費が安い(法勾配を緩和するだけ)	・潰れ地が多くなる ・緑化するには他の工法との組み合わせが必要		1:2.0勾配で施工
⑫		帯梢段柵工	・施工費が安い	・緑化するには他の工法との組み合わせが必要		部分的にスキ取土を使用し施工
⑬		ネット工	・法面安定	・緑化するには他の工法との組み合わせが必要	700	

### 〈補足事項〉

- \* 1~4.....各植生工法
- \* 5~7.....伐開、伐根物再利用工法
- \* 8~13.....植生工法に組み合わせることにより、より効果がでる工法
- \* 番号の○は、施工事例有